

# 平成28年度文部科学省調達改善計画の概要

## 1. 目的

文部科学省における調達の適正性、透明性の確保、効率性の向上等を目指し、調達に関する目標設定と結果の検証・評価を実施する体制を整備することにより、PDCAサイクルによる調達改善を実現。

## 2. 改善に向けた取組

### 調達の現状分析

- ◇文部科学省における平成26年度の調達の支出構造
  - 支出原因契約(少額随契を除く) 3,420件、1,286億円
    - うち教育、研究開発等の委託契約 2,615件、792億円(62%)
    - うち汎用的な物品・役務の調達 511件、80億円(6%)

### 共通的な取組

策定要領を踏まえ、以下の2項目を設定

- ①一者応札・応募の改善
  - ・公告期間の確保、不参加業者へのアンケート調査など競争性を向上させる取組を実施
- ②電力調達の改善【新規】
  - ・一般競争入札によるコスト削減

### 継続的な取組

- ①随意契約の見直し
- ②インターネット取引(クレジット決済)を活用した調達の実施
- ③委託事業で取得した物品に係る事務手続の効率化

### 自己評価

- ・上半期(4～9月)終了後及び年度終了後に自己評価を実施
- ・自己評価の結果を今後の調達改善の取組や計画の策定に反映 等

### 重点的な取組

指針及び契約実績を踏まえ、以下の5項目を設定

- ①随意契約事前確認公募
  - ・複数年度に亘り一者応札(応募)となっている案件について実施
- ②価格交渉
  - ・価格の見積根拠等の精査を行い、調達コスト削減
- ③企画競争及び総合評価落札方式の適正な審査【新規】
  - ・マニュアル等に基づき適正な審査の実施及びマニュアル等の公表
- ④教育、研究開発等の委託契約の見直し
  - ・外部有識者で構成した審査委員会による事前審査(主要35事業)
- ⑤庁費類(汎用的な物品・役務)の調達の見直し
  - ・共同調達・一括調達の実施
  - ・競り下げの実施

### その他の取組

- ・不要物品の売払に係るネットオークションの活用
- ・水道料金・ETC料金のクレジットカード決済による支払事務の効率化
- ・出張旅費の効率化(旅費業務のアウトソーシングの実施)
- ・半期毎の調達予定情報の提供による新規競争参加者の確保
- ・情報システムの調達に係るCIO補佐官の助言等の活用
- ・印刷製本業務を対象としたオープンカウンター方式の実施
- ・省内の有益情報の共有 等

## 3. 推進体制

### 内部監査の活用

- ・事前検証、実地検査による事後検証
- ・外局等への調達改善に係る指導 等

### 外部有識者の活用

- ・随意契約の見直し及び一者応札・応募の改善等について、事後検証を実施
- ・計画の策定、自己評価に対する意見 等

### 行政事業レビュー推進チーム

統括責任者:大臣官房長、(代理)サイバーセキュリティ・政策評価審議官  
副統括責任者:会計課長、政策課長、メンバー:各局課筆頭課長等

※本計画の実務の推進を[調達改善ワーキングチーム]が担うものとする。